

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
松江市	大庭地区 (山代東、山代西、山代原、大庭有、大草1、大草2、大草3、黒田畦、長者原、団原、神田、北原、小原、山崎向山、中ノ島、空山、空の原、大瀬戸、南口、山口) 八雲地区(日吉) 東出雲地区(今宮・春日)	令和3年3月25日	令和4年2月25日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	21,115 a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	11,927 a
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	7,249 a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5,509 a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	271 a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 a
(備考) ※①耕地面積：多面的機能支払制度対象農地面積より算出(組織名：大庭の里地域資源保全会) ※②アンケート調査回答率：56.5%	

2 対象地区の課題

現在、中心経営体となる集落営農法人1経営体、農業法人1経営体、集落営農組織1経営体、個人事業主2経営体の5経営体が約21%の農地を集積している。残りの農地は、65歳以上の農業者が耕作を行っているが、高齢であるため、いつまで耕作できるかわからない状況である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

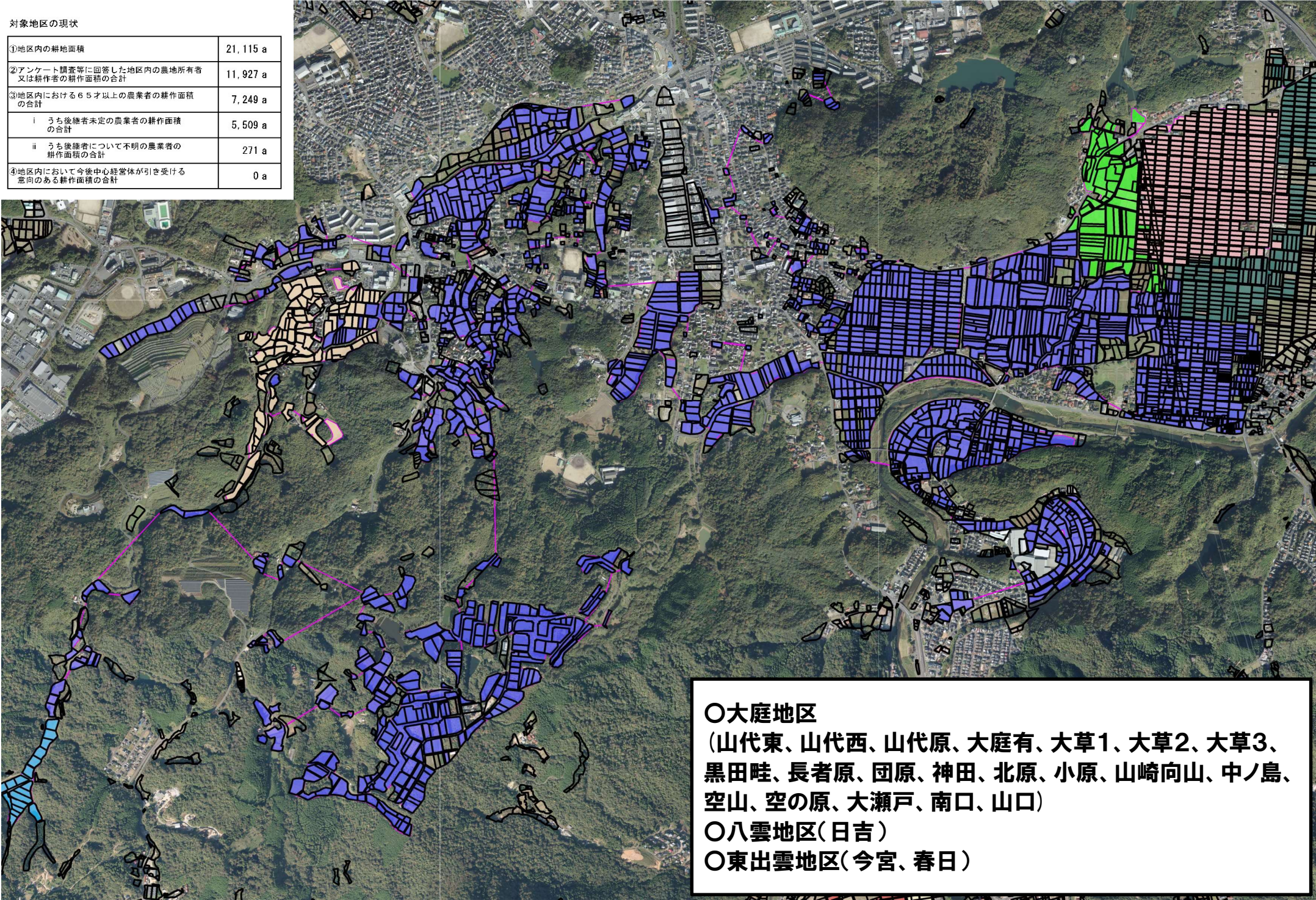
- ・地域ぐるみで農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を行い、中心経営体の負担の軽減を図る。
- ・当面は、集落内の農業者で対応するが、引き受けが難しくなった場合には、農地中間管理機構の活用等により、地域内外から中心経営体を受け入れることで対応する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

- ・多面的機能支払制度を活用し、地域の有する多面的機能の維持・発揮を図るための共同活動を行う。
- ・近年、イノシシ被害が増加しているため、地域ぐるみで有害鳥獣対策を推進する。
- ・水稻などの土地利用型作物のほか、補完作物として収益性の高い高収益作物の生産に取り組む。

対象地区の現状

①地区内の耕地面積	21,115 a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者 又は耕作者の耕作面積の合計	11,927 a
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積 の合計	7,249 a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積 の合計	5,509 a
ii うち後継者について不明の農業者の 耕作面積の合計	271 a
④地区内において今後中心経営体を引き受ける 意向のある耕作面積の合計	0 a



○大庭地区

(山代東、山代西、山代原、大庭有、大草1、大草2、大草3、
黒田畦、長者原、団原、神田、北原、小原、山崎向山、中ノ島、
空山、空の原、大瀬戸、南口、山口)

○八雲地区(日吉)

○東出雲地区(今宮、春日)